

④ 神宮橋跡
奈良時代の官道（伊勢道）沿いの位置にあった橋。昭和30年代までは機能していたが、台風等により流失。なおその初瀬は不明。

⑤ 斎宮歴史博物館
斎宮の歴史や発掘調査の成果が映像や展示でわかりやすく紹介されている。

⑦ 斎王の森
斎宮が当地にあったことを示すシンボリックな森。黒木の鳥居や「斎宮」の石碑がある。現在は神宮司の管轄地となっている。

② 祇川・祇川橋
伊勢に群行してきた斎王は、斎宮に入る前に、この川で禊を行った。また、神宮のまつりに臨む神身を清めたところでもある。

⑥ 奈良古道
古代の館座間から伊勢神宮を経て志摩国府に至る官道で、道幅は9mほどであった。現在も字界の道としてその一部が生きている。

⑪ 竹神社
明治44年に旧斎宮村にあった23社の神を合祀してできた神社。この場所は斎宮が興築されるまで機能していた中區部である。

③ 道標
弘化4年（1847）に建てられた道標。南側に「従是外宮三里」、左側に「宮川江二里半（以下省略）」と書き添えられている。

⑨ 1/10 史跡全体模型
史跡全体を10分の1に縮小した野外模型。方格地割内に、一部斎王の御殿や役所の建物も復元。往時の規模を体感できる。

⑩ いつきのみや歴史体験館
十二単の試着をはじめ、平安文化を中心とする様々な歴史体験ができる。

⑫ 道標「天満宮の道」
かつて存在した北野天満宮への道案内である。東側面には「斎宮」と刻まれている。

⑬ 安養寺（※）
鎌倉時代の創建。かつては済生会明和病院の場所にあった。街道沿いに移ったのは天正16年（1588）である。北島氏関連の文書など多数保管されている。

⑰ 呑海工房（※）
かつて伊勢参宮のお土産として人気のあったクスを使ったカエルやツグの「根付」を制作・展示している。

⑱ 道標
嘉永6年（1853）に建てられた道標。街道に面し、「従是外宮二里」とある。右側面、左側面にも道案内が刻まれている。

⑲ 史跡水池土器製作遺跡
主に伊勢神宮や斎宮で消費される土器（土師器）を焼いていた生産遺跡である。二等辺三角形をした黒跡が特徴的である。

⑳ しいの辻
通称「しい」と呼ばれた三叉路。昭和初年まで榎の大木があり、大正中頃まで大規模な賑わいがあり、寄客がしていた。

① 近鉄斎宮駅（スタート）
130m 2分

② 祇川橋・祇川
100m 2分

③ 道標「従是外宮三里」
300m 6分

④ 神宮橋跡
510m 10分

⑤ 斎宮歴史博物館
250m 5分

⑥ 奈良古道
560m 11分

⑦ 斎王の森
160m 3分

⑧ 国史跡斎宮跡休憩所
100m 2分

⑨ 1/10の史跡全体模型
100m 2分

⑩ いつきのみや歴史体験館
100m 2分

⑪ 竹神社
360m 7分

⑫ 道標「天満宮の道」
400m 8分

⑬ 絵馬堂跡・エンマ川
0m 0分

⑭ 六地藏石幢
140m 3分

⑮ 安養寺（※）
900m 18分

⑯ 史跡水池土器製作遺跡
780m 16分

⑰ 呑海工房（※）
540m 11分

⑱ 道標「従是外宮二里」
120m 2分

⑲ 史跡離宮院跡
120m 2分

⑳ 弘法大師堂
330m 7分

㉑ しいの辻
1030m 20分

②③ へんば屋
安政年間創業のへんば餅を今も販売している老舗。へんば餅の由来は、馬に乗った参拝客がここで馬を運したことからという。

②④ 妻入りの町並み
1500m 30分

②⑤ 国史跡離宮院跡
850m 17分

②⑥ 石柱「参宮人見附」
130m 3分

②⑦ 桜の渡し
2930m 58分

②⑧ 伊勢神宮（外宮）
450m 9分

②⑨ 伊勢市駅（ゴール）
450m 9分

②⑩ へんば屋
安政年間創業のへんば餅を今も販売している老舗。へんば餅の由来は、馬に乗った参拝客がここで馬を運したことからという。

②⑪ 妻入りの町並み
1500m 30分

②⑫ 国史跡離宮院跡
850m 17分

②⑬ 石柱「参宮人見附」
130m 3分

②⑭ 桜の渡し
2930m 58分

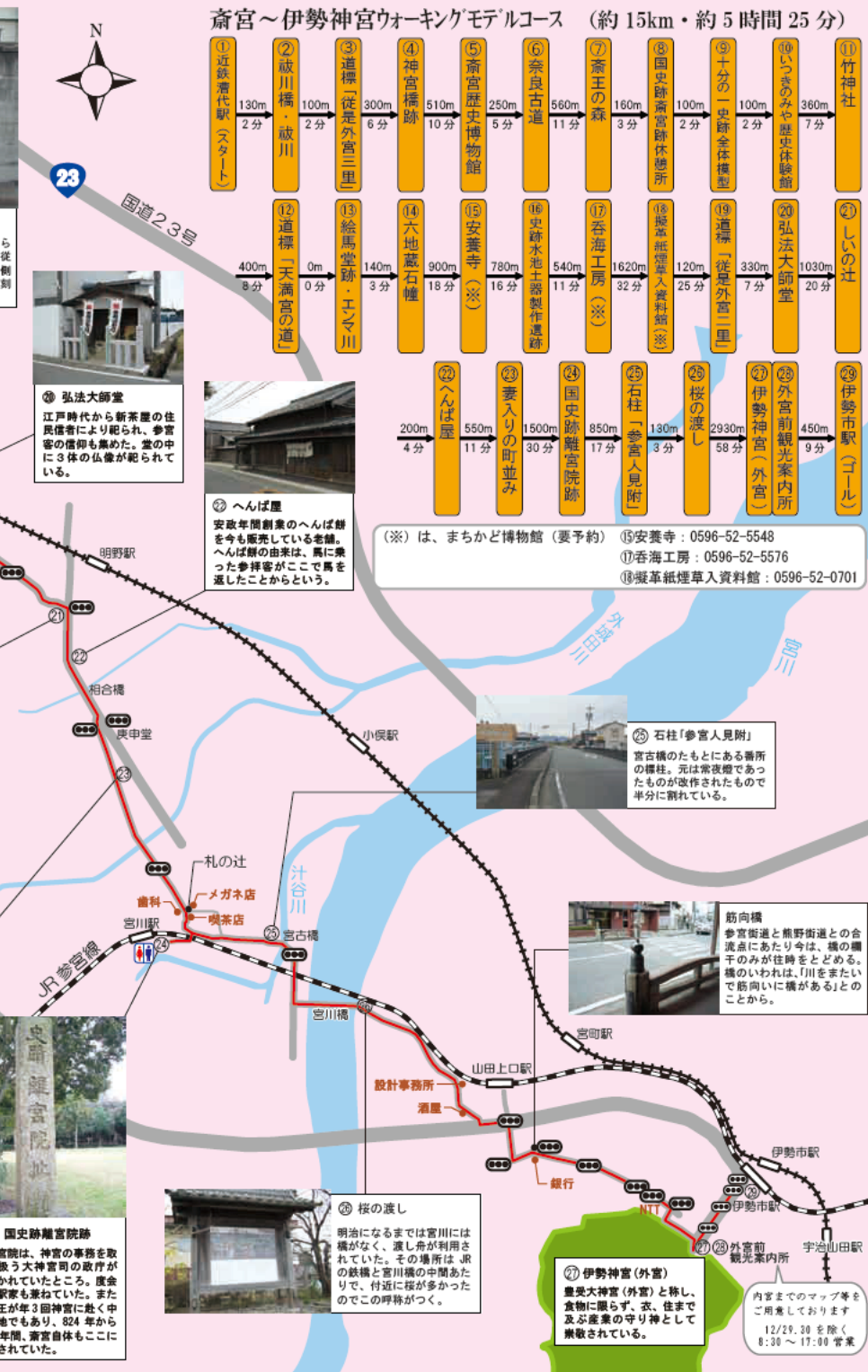
②⑮ 伊勢神宮（外宮）
450m 9分

②⑯ 伊勢市駅（ゴール）
450m 9分

②⑰ 伊勢神宮（外宮）
豊受大神宮（外宮）と称し、食物に限らず、衣、住まで及ぶ産業の守り神として崇敬されている。

②⑱ 伊勢市駅（ゴール）
450m 9分

②⑲ 伊勢市駅（ゴール）
450m 9分



斎宮～伊勢神宮ウォーキングモデルコース（約15km・約5時間25分）

（※）は、まちかど博物館（要予約）
 ⑮安養寺：0596-52-5548
 ⑰呑海工房：0596-52-5576
 ⑱葦草紙煙草入資料館：0596-52-0701

— 斎宮の歴史と伊勢神宮を訪ねて —
旧参宮街道の風情を楽しむコース

コース距離 約15km
 コース時間 約5時間25分

斎宮とは、古代から中世にかけて天皇が即位するたびに選ばれた皇女「斎王」が住んだ御殿と「斎宮寮」という役所があったところ。斎王は年に三回、度会の離宮院を介して伊勢に赴き三節祭と呼ばれる神宮のまつりに仕えました。

また、近世には、おかげ参りの道として街道筋は大いに賑わいをみせ、今でもその面影が随所に残っています。

一度時間をかけて参宮街道（斎宮～外宮間）の風情を楽しむウォークにチャレンジしてみませんか。

※斎宮跡休憩所を拠点にコースの一部を斎宮が「ド」ボランティアがご案内します（無料）
 問い合わせ先 歩く：明和町観光協会 0596-52-0055
 歩く：外宮前観光案内所 0596-28-3705
 学ぶ：斎宮歴史博物館 0596-52-3800
 体験：いつきのみや歴史体験館 0596-52-3890

編集・発行 斎宮歴史博物館
 明和町産業課
 三重県観光局観光・交流室

※この地図は平成18年12月1日現在のものです。
 ※無断転写禁ず。

②⑳ 助向橋
参宮街道と熊野街道との合流点にあたり今は、橋の欄干のみが往時をよめる。橋のいわれは、「川をまたいで筋向いに橋がある」とのことから。

②㉑ 外宮前観光案内所
内容までのマップ等をご用意しております
 12/29,30を除く
 8:30～17:00営業